

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170400598		
法人名	株式会社 エステートホーム		
事業所名	サロン・ド・フレール羽島		
所在地	〒501-6244 岐阜県羽島市竹鼻町丸の内9丁目53番地		
自己評価作成日	平成22年6月9日	評価結果市町村受理日	平成22年8月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kouhyou.winc.or.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2170400598&SCD=320
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人 ぎふ住民福祉研究会		
所在地	〒503-0864 岐阜県大垣市南類町5丁目22-1 モナーク安井307		
訪問調査日	平成22年7月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

理念に基づき、御利用者、ご家族、地域の方々との響きあいの関係を大切にしている。ご家庭にいた時と同じように、普通の暮らしを大切に、一緒に調理をしたり、買い物をしたり、散歩に出かけることで、地域との交流を持ち続けることができるよう支援している。また、御利用者に対する尊敬の念を忘れず、御利用者一人一人に合った役割や、楽しみ事を見つけ、安心して暮らしていけるよう支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

サロンドフレール羽島は、羽島市の真中に位置し、交通の便をはじめ、市民の森公園、スーパー、コンビニ、消防署、文化施設、医院、薬局、喫茶店等が半径500メートルの中にあつて利便性から見ても良い環境の中に建っている。ホーム内は明るく、広く、利用者の成果品や行事の写真等が整然と掲示してある。居心地の良い共用空間となっている。自治会に加入して、地域の行事には積極的に参加し交流に努めている。買い物や散歩のときに、出会った人への挨拶や、店の店員さんとも必ず、話し掛けをするよう心がけている。職員の笑顔が素晴らしく、それが利用者の明るい顔に繋がっており、日々の家庭的な暮らしを満喫していることが利用者の姿から受け取れる。地域密着型サービスとは何かを常に話し合い、「響き合い」の理念が全職員に周知徹底され、利用者との会話が楽しく響きあっている施設である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	会議等で、理念の理解、重要性を学び、全職員の意識が、向上するよう努め、日々のケアにつなげていけるよう取り組んでいる。	理念の「響き合い」、何とも心地の良い言葉である。また、施設長をはじめ、職員全員がこの理念を日々の支援に活かそう、生かそうと懸命に努力している姿がある。全職員に周知が徹底的にされていて、利用者との会話が楽しく響きあっている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り、地域の行事にもできる限り利用者と参加している。日々の買い物や、挨拶など交流に努めている。	地域とつながりをもつようになり、4年になる。職員同士で地域との交流をどうすれば、更に良くなるか、常に話しあっている。自治会の行事に積極的に参加したり、介護相談を行ったり、外出時にも情報をキャッチするアンテナを職員一人ひとりが広げている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談の実施、外出(買い物、外食、散歩)等で、認知症の方への理解をしていただけるよう働きかけている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に会議を実施し、意見交換を行い、サービス向上に活かしている。	運営推進会議の議事録がきちんと整備されている。地域の参加者や市の担当者との情報交換や意見交換が活発に行われており、それらを運営に反映させる会議の場を持っている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者、マネージャー等が、日頃から協力関係を築けるよう努めている。	施設長は、特に市との連携に重点を置いており、市との協力関係を保っている。また、管理者やマネージャまでもが市に出掛けて行く等、市との連携の大きさを職員全員が理解している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	会議などで法令を学び、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。防犯、治安の面から施錠はしているが、希望時には開けるようにしている。	研修等で身体拘束のない、しないことを学び、それをミーティングで更に職員全員に周知している。建物が市街地の真中に位置しているため、利用者の安全を第一と考えているが、鍵を掛けることも身体拘束であることを職員は承知しており、利用者の様子を見て外へ出たい時は、鍵をあけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議等で研修を行い、理解を深めている。職員間でも客観的視点を忘れないよう気をつけ、虐待の防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会議、研修にて、学ぶ機会を設け、理解を深めている。現在制度を活用している方、手続き中の方がいる。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前に利用者、家族に十分な説明を行い、納得した上で契約を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置と、苦情窓口を設けている。面会時など直接職員に意見をいただくこともある。	運営推進会議で家族の代表者や面会時を捉えて意見を聞いている。職員はその意見が要望か希望か等見極めて、施設運営に反映させている。利用者との、日々の会話から何を望んでいるか意識しながら把握に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	定期的なヒアリングの実施。管理者は日々のコミュニケーションを大切に、意見、提案を反映させている。	職員が話し合える会議やミーティングで、それぞれ活発に意見が交わされている。施設長が職員一人ひとりと面談時間を取り、働き易い職場作りをしている。管理者も日々の支援の中でのコミュニケーションを大切に、職員の意見を運営に活かしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的なヒアリングや、日常会話の中から資格修得や努力、実績等把握し、向上心が持てるよう意識している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	段階別に設けた研修の実施や、外部の研修の情報を提示し、希望者は参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者はグループホーム協議会や、支部会などを通して交流を深めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の面談で、ご家族、ご本人から情報を収集し、ご本人の状況把握に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の思い、不安、要望等ゆっくりと傾聴し、信頼関係の構築に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談の中から情報を収集し、関係専門職と話し合い、グループホーム以外のサービスも必要性があれば提案も行っている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	「響きあい」の理念のもと、お互いに支えあえる関係作りに努めている。食事作りや会話の中から利用者から教えていただくこともある。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時や電話などで情報交換し、共にご本人を支えていく姿勢を大切にしている。外出や行事に家族とともに参加できる機会を設けている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事に参加し、なじみの人に出会える機軸に努めている。また、なじみの方が気軽に面会できるよう、雰囲気にも気配りしている。	家に帰りたい願望の利用者には、家族と連携を保ちながら、昔お参りしていた別院とか、墓参り、喫茶店等へ行き、利用者の希望を叶えている。職員は利用者の馴染みの人や場所の関係が途切れないよう、支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	各利用者同士が自然に自由にかかわりあえるようテーブル、ソファの配置に気を配っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても必要に応じいつでも相談できるようにしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々もケアの中から常に希望、意向を把握し、本人本位に生活できるよう支援に努め、時には家族にも協力を得ている。	利用者とのコミュニケーションは日常的に行われ、その中で利用者が施設の生活をどう暮らしたいのか、今日何をしたいか等の思いや意向の把握に努め、職員と確認し合っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族などから情報収集し、一までの生活環境をできる限り取り入れ生活できるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の申し送り、記録などから、全職員が情報を共有し、状態に応じ検討会なども実施している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	会議や担当者会議等で、意見交換を行い、常に本人の状態にあった支援をしている。	カンファレンスで介護計画の作成に、職員一人ひとりの意見を出し合っている。利用者や家族から思いを聞き出して、介護計画に反映させている。チーム一丸となって、利用者本位の、より良い介護計画を全員で作っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	申し送り、記録など、状態の把握ができるよう、職員は情報共有し、より良いサービスの提供に努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	必要に応じ、個々に対応し、できる限り柔軟な支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア、消防署の活用、ご本人の要望に応じ美容院へ出かける方もみえる。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に施設主治医とかかりつけ医を選択していただいている。場合により他の医療機関も受診している。	入居後も以前のかかりつけ医や希望の病院を受診することが出来る。ホームの協力医療機関は古くから開業している地元の医院で、家族の協力も得ながら、複数の医療機関と連携している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療機関連携加算により訪問看護を活用し、24時間オンコール体制を整えており、いつでも相談できている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はこまめに面会に行き、病院関係者、ご家族との情報共有、連携に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族、医師との話し合いの場を繰り返し設け、その都度できることを検討しながら支援につなげている。	入居時、家族等に説明し終末期同意書をもっている。食事が食べれなくなるなど体調の変化に応じ、家族の意思を繰り返し確認しながら話し合いの場を持っている。かかりつけ医と連携を図りながら、事業所で出来ることの検討を行い、重度化や終末期に向けた支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルに応じ、対応しており、会議などでも定期的な確認を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年4回の消防訓練の実施、災害に対して必要な物品も備えている。運営推進会議等で地域の方とも話す機会を設けている。	災害時に備え、必要な物品を備蓄している。年4回の消防訓練は毎回昼と夜2回実施され、すぐ前にある消防署の協力を得て通報や誘導など、実践的に行なわれている。運営推進会議で地域への協力を呼び掛けている。	ホームの回りに民家は少ないが、目と鼻の先に消防署がありとても心強い。緊急連絡網はよく整備されているが、緊急時の職員情報や利用者ごとに情報をまとめる等、災害時の実践にすぐ役立つ更なる整備を期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の利用者をよく理解し、配慮のある声かけ、接し方の支援をしている。	職員は一人ひとりをよく理解し、利用者から笑顔を頂けることを喜びとしている。、個々の利用者のペースを尊重しながら、誇りやプライバシーに配慮したさりげない声かけや支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のケアの中で、利用者に応じて選択できる環境を提供している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	各利用者のペースを尊重しながら、できる限り希望を取り入れている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の利用者に合わせた支援を行っている。2ヶ月に1回の理容院への支援や、美容院へ行かれる場合もある。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に応じた献立や、希望に応じた献立の提供、また、個別外食の支援も行っている。目の前での調理や、簡単な作業をお願いし、行っている。	一人ひとりの好みを把握し、利用者の希望にそった献立が柔軟にたてられている。毎日利用者と買い物に出かけたり簡単な調理の準備や後片づけを一緒にするなど、個々の力に応じた食事支援が行なわれている。ウナギ丼やお寿司など楽しみな個別外食もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、食事形態を個々の利用者に応じ支援している。季節や、尿の回数を考慮した水分の摂取にも配慮している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを個々の利用者に応じ支援している。場合により歯科受診も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄チェック表を活用し、個々の排泄パターンの把握に努め、できる限りトイレで排泄できるよう支援している。	排泄チェック表を活用し、声かけをしてトイレで上手く出来た時出来なかった時など、さりげなく個々の排泄パターンの把握に努めている。個々の時間を見計らって誘導する事によりトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ご飯に寒天、麦を入れたり、食物繊維や十分な水分の摂取に心掛けている。場合により主治医と相談し、薬の処方により調整している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の利用者の希望や、タイミングに合わせて支援している。拒否のある方は中止し、希望時に対応している。	熱めの湯やぬるめの湯、入浴時間など一人ひとりの希望に沿った個別支援が行なわれている。入浴を嫌がられる時は無理強いをせず、翌日でも入浴できるよう対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の生活リズムに合わせて対応している。安眠、休息の為の環境づくりにも気を配っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	すぐに確認がとれる場所に処方箋を設置、処方の変更があった場合には申し送り等で、理解できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々のケアの中から個々の役割、楽しみを発見し、支援に努めている。ケア検討の中でも話し合いの場を設けている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	季節や天候に配慮しながら、個々の利用者の希望に応じ対応している。地域の行事にも積極的に参加し、交流に努めている。	近くに寺院やスーパー・公園等があり、毎日の買い物や四季折々の花見の散歩など、利用者の希望に応じた外出支援が行なわれている。左義長など地域の行事に参加したり、先祖の墓参りや自宅に帰るなどの個別支援も職員によって行なわれている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	持てる方、使える方は機会を設け買い物時、支払の支援をしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	状況に応じ、家族等に電話をしている。手紙を書かれた方には御家族にお渡ししている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた花を飾ったり、季節感を感じていただける写真や飾り付けをし、話題に努め、居心地の良い空間づくりに配慮している。	広いリビングや廊下にはテーブルやソファ、ベンチが置かれ、利用者がそれぞれに過ごせる空間作りがなされている。開放的なベランダからは、道行く人の往来が眺められ、日差しを和らげるつる花や季節の花が植えられるなど、居心地よく過ごせる工夫がなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下やリビングにテーブル椅子、ソファを配置し、憩いの場を設けている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から使い慣れた家具等を持ってきていただき、ご本人が安心し、居心地よく過ごせるよう工夫している。	利用者の馴染みの家具やカレンダー、時計、写真などが置かれて、その人らしい居室となっている。出入り口には夏冬好みの暖簾がかけられ、プライバシーを大切にしながら安心して過ごせるよう工夫されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室入口の表示、目印、看板など、わかりやすく設置し、自立した生活が送れるよう支援している。		